

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者のアセスメント情報収集	入居者の生活歴を日々のケア、関わりの中で本人の話を聞き記録する。入居者の生活歴等を把握し、その人のストロングポイントに着目し毎日の体操、散歩、草取り、畑作業に繋げ、入居者が気持ちよく活動的になるにはどうすれば良いか常に考えながら寄り添う。	再度、家族に協力して頂き「暮らしのシート」を作成し、本人の話も記録する。週に1度情報共有する時間を設ける。プラス、記録媒体の見直し。	12ヶ月
2		ほとんどの入居者の足、腰が弱っている	入居者の体力維持向上。	リハビリ職と相談し、適切なリハビリ計画を策定し、本人と意識共有し職員と共に目標達成に向かい楽しむ。	12ヶ月
3		終末期に向けた方針の共有	具体的な本人、家族の意向を確認し、主治医、訪問看護師との連携を強化する。	入居者全員の家族に予定を調整して頂き、本人含めてふなぎらで話し合う機会を設け、今後の支援につなげる。「今後の方針を考える」	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。